



ほけんだより

18年度6月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

流行が予想されていたりんご病と手足口病ですが、6月に入り、園では手足口病が流行っています。他にも熱でお休みする子が多いですが、感染症の報告として、おたふくかぜ（幼1乳5）嘔吐下痢（幼3乳4）結膜炎（幼2）手足口病（幼3乳3）水ぼうそう（乳4）ヘルパンギーナ（乳1）プール熱（乳2）がありました。ぜんそくになったり、気管支炎で入院という報告もあります。急な熱や発疹に注意し、脱水を起こさないように水分補給をしましょう。

【手足口病とは】

手足口病とは夏かぜの一種で、せきや唾液からうつります。名前の通り、手足口に白い水疱上の発疹ができ、口の中の口内炎が痛み、食欲が落ちます。一週間くらいで治りますが、食欲がなくても水分補給は忘れないようにしましょう。登園の目安は、熱、嘔吐など合併症を思わせる症状がおさまり、食欲が出てきたら大丈夫でしょう。

◆◇◆一度かかったら安心？ではないのです◆◇◆手足口病は、原因となるウイルスが一種類ではないため、一度かかっても免疫はつきません。日ごろからうがい・手洗いをして予防しましょう。

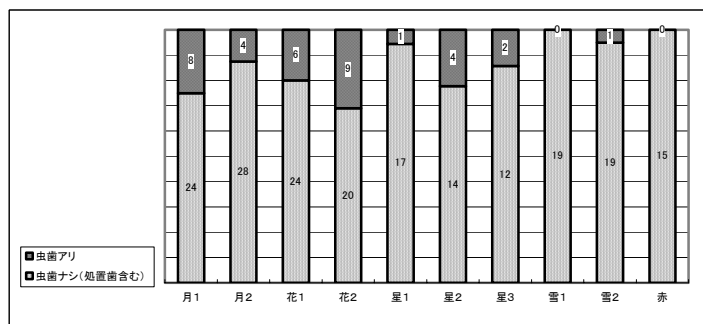


【歯科健診結果】

6月15日に、嘱託歯科医の山本先生による歯科健診があり、227人が受診しました。結果は個別にお知らせしていますが、治療の必要があるお子さんは早めに歯科を受診してください。お休みされたお子さんは、秋頃健診をする予定です。

★軽度虫歯（C1）のある子が 227人中35人でした★

右記のグラフは、虫歯のある子とない子の数をクラス別に示し、相対的に表したものです。



★かみ合わせに問題がある子がいました★

かみ合わせに問題があると、将来小児の肩こりや腰痛などを起こし、生活にも影響することがあります。治療には適切な時期がありますので、歯科のホームドクターをもち定期的な健診をおすすめします。しかし、子どもの歯は、生えたり抜けたり永久歯が生えたりと、歯の数やあごの発達により、かみ合わせも変化していきますので、乳歯のうちは様子を見ていけばよいでしょう。

- ① 開咬（かいこう）：前歯の上下がかみ合わない。指しゃぶりやおしゃぶりを続けることが原因になることがほとんど。
- ② 切端咬合（せったんこうごう）：前歯は上の歯がかぶさるようになるのが通常のかみ合わせであるのに対して切端咬合は上と下がつき合わさる。
- ③ 反対咬合：下の前歯が出ている。受け口。切端咬合のひどいもの。

★その他★

- ① ゆ合歯：先天的に2本の歯が1本になって生えている。特に問題はないが、普通の歯よりギザギザしているため、虫歯になりやすい為注意が必要である。
- ② 先天欠如：生えてくるはずの歯が、先天的に欠如している。
- ③ サホライド：進行止め。歯医者で進行止めを塗ってもらっている。
- ④ 軟組織異常：上唇と歯ぐきの間のつなぎ目が短く、切った方がいい場合もある。
- ⑤ 過剰歯：一本の歯が二本重なっているような形をしている。
- ⑥ 要注意乳歯：乳歯がグラグラ。永久歯が生えてきているので抜いた方がよい。



★★★ 山本先生よりアドバイスを頂きました ★★★

- ★ 2才までに親から食べ物の口うつしをしない！！（虫歯菌を子どもの口に入れない）
- ★ 2才までは極力甘い物を与えない！！（味を覚えさせなければ欲しがらないのでチョコやアメなど長い間口の中に残る物はよくない。）
- ★ 毎日の仕上げみがきをしっかりと！！

（幼児期の虫歯は大人の責任です）



【プールにむけて】

蒸し暑い日が続く、プール開きが待ち遠しいですね。7月4日（火）を予定しています。

泳ぐ前日には

- 耳垢をきれいに掃除する
- 手足の爪を切る
- 睡眠をよくとる

こんな症状が見られる時はプールに入れません

- 顔色が悪い
- 熱がある
- 目が充血している
- だるそうにしている
- 腹痛又は下痢をしている
- 病気がある（心臓病、伝染病、目・耳・鼻の病気など）

プールでうつる病気

- プール熱
- はやり目
- 水いぼ



【おわりに】

もうすぐプール開きですが、免疫力が低下している時には“プールでうつる病気”にかかりやすくなります。楽しいプールあそびができるよう、健康管理に注意し、朝ごはんをしっかり食べて元気に登園しましょう！！